

## 別添資料 1

### 2013.11.19 メモ 岐阜県危機管理課とのやりとりメモ

☆ 危機管理課 課長・尾崎さん、課長補佐・Hさん、担当者・Tさん

☆ 平和・人権・環境を守る岐阜県市民の声 Ka、Ya、Na、Ko

#### 【経過】

★ 11月13日(水)

◇ 岐阜基地司令・から、岐阜県と各務原市に非公式な情報があった。

(未定だ、決定していないから外部に漏らすな、という形で)

「岐阜基地の航空祭でオスプレイの展示を検討している。まだ米軍側の了解はとっていない」

◇ あまりにも唐突、あまりにも情報不足と感じた。

高知県で検討された(台風のために流れた)、「南海トラフ地震による津波被害の救援」でもない。航空祭での展示、というのはどういうことか？

★ 11月14日(木)

◇ 全国知事会として、防衛省に要請

<http://www.nga.gr.jp/news/2013/post-1075.html>

【写真】木原防衛大臣政務官へ要請書を手交する高原総務常任委員会委員長代理(岐阜県副知事)

・MV-22 オスプレイの飛行等に関する要請

<http://www.nga.gr.jp/news/H25.11.14%20osupurei%20yousei.pdf>

◇ 同時に岐阜県として、岐阜基地航空祭でのオスプレイ展示の再考を求める申し入れを口頭で行った。

★ 11月15日(金)

◇ NHKが朝のニュースで報道。防衛省側の発言＝「岐阜基地でのオスプレイ展示に向け日米で調整している」「オスプレイの理解を高めるため」。

夕刊で各紙が報道。

◇ 「岐阜基地航空祭でのオスプレイ展示に関する岐阜県知事コメント」(別添資料2)を発表。

★ 11月16日(土) 10時

◇ 岐阜基地周辺市町(各務原市、岐南町、笠松町)の会合が開かれる。石原・岐阜県危機管理統括監もオブザーバー参加して、岐阜県のスタンスを伝える。

住民に説明するためにも、きちんとした手続きを踏むように申し入れる方向で話し合う。

★ 11月18日(月)

☆ 18日(月) 10時

岐阜基地周辺市町村連絡協議会(各務原市、岐阜市、岐南町、笠松町)として会長の各務原市長、及び岐阜市副市長、岐南町長、笠松副町長が、航空自衛隊岐阜基地を訪れ、岐阜基地司令及び東海防衛支局長に申し入れ(文書)を行う。その場で「24日の航空祭では、オスプレイを展示しない」旨の回答があった。

☆ 13:30、「オスプレイ展示をしない」旨の回答があったことを各務原市広報課が発表(文書)。

## 【意見等】

市民側 )

- ・ 14日に知事会として素早い要請書提出は評価するが、県民には決定を知らせるだけになり、これでいいのかとの思いがある。
- ・ 「フィリピンの被災地支援、人道支援に、米軍がオスプレイを投入している状況を受けて判断」というのは、本当の理由とは思えない。先週(12日)のうちに自衛隊も、先遣隊派遣を決めている。米軍が自衛隊よりよほど遅い情報しかもっていないことはありえない。14日時点で「フィリピンの被災地支援」については方向が出されているはず。
- ・ 岐阜県もオスプレイの飛行訓練域とされているが。
- ・ 展示のために飛来することの法的根拠はどうか(どういう規制があるのか、あるいは規制がかからないのか)。訓練との違いについて位置づけを明らかにして欲しい。

岐阜県)

- ・ 「ブルールート」に、岐阜県もかかっているらしいが、東海防衛支局に詳しいこと教えて欲しいと言って何も出て来ない。市民に皆さんが知っている以上のことは、岐阜県にも知らされていない状態。
- ・ 3月にも、全国知事会として、日米合同委員会合意を遵守し、飛行実態について広く開示するよう、要請しているのだが。

→ 全国知事会 HP

「MV-22 オスプレイの低空飛行訓練等の開始に関する緊急要請」について(平成 25 年 03 月 06 日)

<http://www.nga.gr.jp/news/2013/mv-22-1.html>

MV-22 オスプレイの低空飛行訓練等の開始に関する緊急要請

<http://www.nga.gr.jp/news/img-306190319.pdf>

- ・ オスプレイが飛来するののかも聞かされていなかった。陸上輸送はありえないと思うが。いつどういうルートで飛ぶのか、何も知らされないみたいだ。岩国から普天間に行ったときも、「岩国を発った」「普天間に着いた」しか公表されなかった。

市民側)

- ・ 3月に全国知事会から要請を出しても、事前説明もなく滋賀県の基地に飛来したこと、今回も説明すらないことをから、改めて日本は独立国なのかという疑問を抱いた。

- ・ 特定秘密保護法が成立したら、いったいどうなるのだろうか。

例えば、岐阜県知事が得た情報を全国知事会に出すことも難しくなるのではないか。

岐阜県内でも危機管理部署のどこまでが、情報共有できるのだろうか？ 課長どまりか？ 課長補佐は？ 役職のない担当者には何も知らせられないのか？ そんなふうでは、県民のためになる真っ当な「危機管理」の職務が遂行できなくなる。市民と皆さん(危機管理課)とは深い溝ができることになる。こうして話し合うこともできなくなる。

以上

## 岐阜基地航空祭でのオスプレイ展示に関する岐阜県知事コメント

11月24日の岐阜基地航空祭において、オスプレイを展示するとの計画については、まだ正式決定ではないとのことであるが、あまりに唐突な話であり、驚いている。

地元への十分な説明や具体的な情報提供がなされないままに進められることを大いに危惧しており、昨日、全国知事会長と総務常任委員長である私の連名で、防衛省に対し、慎重な検討を強く要請したところである。

今後、各務原市をはじめ、県内関係市町村ともよく相談し、対応を検討してまいりたい。